

## 企業ニュース アルペン

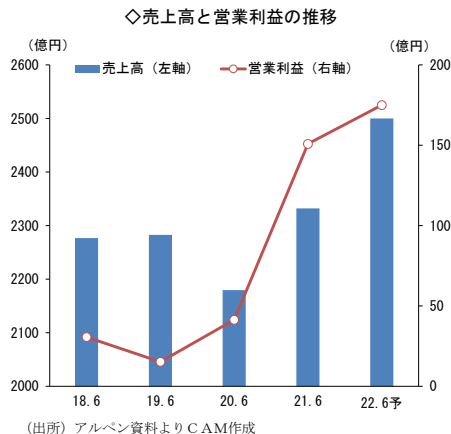
(東証1部 : 3028) <https://store.alpen-group.jp/corporate/>

作成者: 高見澤晶子

### 国内最大手のスポーツ用品専門店

1972年スポーツ用品店として設立、スキーなどウィンター用品を中心に事業を拡大。その後、ゴルフ専門店「ゴルフ5」、大型スポーツ用品専門店「スポーツデポ」などをオープンし業容を広げてきた。21.6期末のグループ店舗数は394店。また、同期のセグメント別売上高構成比は、ウィンター3%、ゴルフ38%、一般スポーツ57%、その他2%。

コロナ禍で密を避けてできる屋外アクティビティの需要が拡大、当社でもゴルフ用品や一般スポーツに含まれるアウトドア用品の販売が好調に推移している。新型コロナをきっかけとした屋外アクティビティの人気は定着が期待され、当社の業績を下支えしよう。



### 増収効果と粗利益率改善で営業利益は大幅増益

21.6期の連結業績は、売上高が2,332億円、前期比7%増、営業利益が151億円、同265%増。会社計画に対して売上高は18億円未達だが、営業利益は18億円上振れた。競技スポーツ、水泳・フィットネスなどの屋内アクティビティ関連は低調だが、ゴルフ用品の好調で既存店売上高は前期比4.2%増となった。アウトドア関連の好調も増収に寄与した。利益面では、在庫の適正化で処分販売が減少したことにより粗利益率が2.4ポイント改善、また業務内容の見直しによる経費の削減も寄与した。

22.6期の通期会社計画は、売上高2,500億円、営業利益が175億円。前期（収益認識に関する会計基準等適用前）比では売上高が7%増、営業利益が同16%増。既存店売上高は同3.8%増を想定。ゴルフやアウトドア関連の需要取り込みを強化するほか、部活動の制限緩和やスポーツイベントの再開などによる競技スポーツ需要の回復も見込む。自社ブランドやメーカー各社と協業した限定商品の拡充など、商品力の強化も寄与しよう。利益面では増収効果に加え、オリジナル商品による粗利益率改善や業務効率向上に向けた取り組みを継続して増益を目指すとしている。

### [株価動向・投資判断]

屋外アクティビティ需要の取り込みによる売上が期待できよう。今期の増配予想も株価を下支えしよう。

<3028 アルペン 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高 百万円 (伸び率)	営業利益 百万円 (伸び率)	経常利益 百万円 (伸び率)	当期利益 百万円 (伸び率)	1株利益 円	1株配当 円
20.6	217,943 (▲5)	4,133 (172)	5,744 (99)	17 (-)	0.4	40.00
21.6	233,215 (7)	15,088 (265)	16,836 (193)	10,773 (63,271)	274.9	45.00
22.6 予	250,000 (-)	17,500 (-)	18,740 (-)	11,560 (-)	295.0	50.00

(注) 22.6期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用、22.6予は当該会計基準等適用後の金額のため対前期増減率は非算出



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価 (2021/8/20)	3,590 円
年初来高値 (高値日)	3,865 円 (21/8/13)
同 安値 (安値日)	2,120 円 (21/3/5)
予想 P E R (22.6 予)	12.2 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	2,776.5 円
P B R	1.29 倍
予想配当利回り	1.39 %
(1株当たり配当金年50.00円)	
R O E (21.6)	10.4 %
発行済み株式数	4,049 万株